

建築協定	建築協定連絡協議会	平成25年11月	<p>建築協定連絡協議会『秋の勉強会』</p> <p>「建築協定の更新・変更について」にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永年協定地区のテーブルミーティングにおけるテーブルリーダー ・高齢化に伴う環境の変化などをアドバイス
まちづくり協定	荏田北二丁目まちづくり協定（青葉区）	平成23年～現在に至る	<p>まちづくり協定事前審査の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 函面関係の事前審査支援 ・ 色や素材、形態等ガイドラインに沿った事前審査 ・ 住環境委員会の運営サポート ・ 運営しやすいチェックリストの作成 ・ 申請者との事前打合せ等、まちづくり協定に適合するよう協力に向けサポート ・ 報告者作成
いえ・みち・まち改善事業	市場西中地区（鶴見区）	平成20年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり協議会の「家づくり」の説明会・相談会にて「介護のお年寄りにたいして、くらしやすい住環境改修」セミナーの講師 ・ 個別の相談会の相談員
まち普請事業	美ヶ丘西部地区（青葉区）	平成21年～平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集まる場所がない美しが丘西部自治会に建設委員会組織立ち上げ支援、まち普請紹介 ・ まち普請申込みのサポート ・ ニュースの発行や周辺自治会への働き方支援し、1次通過向けた支援 ・ 建築計画のアドバイス ・ 住民とのタイルアートワークショップを提案
団地再生事業	南長津田団地集会所拠点整備（緑区）	平成25年～28年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地再生支援 ・ 横浜市団地再生モデル事業申請書類など支援 ・ ワークショップ開催サポート ・ 横浜市地域福祉・交流拠点整備事業申請書など支援 ・ 集会所拠点運営委員会立ち上げ、運営支援 ・ 集会所改修及びカフェ建設の設計及び工事監理 ・ 子供会とタイルアートワークショップ企画し、看板やチラシ等作製 ・ カフェ運営委員会立ち上げ支援 ・ 住民の力を引き出し、住民発意の企画・運営を支援
アートワーク事業	御前田自治会館（緑区）	平成15年～平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の要望をまとめ町内会館を建設し住民参加を提案した ・ 町内会館建設に伴う外構計画においてのアートワーク提案 ・ お年寄りから子供まで参加者をつのりタイルのワークショップを企画・運営し、水飲み場を作った

（注1）支援分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	アートワーク 事業	中村自治会館 (緑地区)	平成 25 年～ 平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の要望をまとめ町内会館を建設し、高齢者が多いこの地区における若い世代の利用者の参加を促す子供会とその父兄によるタイルアートのワークショップを提案しサポートした。 ・その作品を道路側の外構計画の擁壁に左官職人の力を借り完成させた。

まちづくりに関する PR

委員会活動や自主研究、及び海外研修などの研鑽と建築設計や耐震改修、アートワークの実践をすることでハードとソフトの両面からまちづくり、コミュニティづくり、拠点づくりに取り組んでいます。

- ・北米における分譲地の住宅環境を年代別に調査研究（'86 年）
- ・北欧における高齢化した集合住宅と高齢者施設研修（'91 年）
- ・スウェーデン福祉研究所における研修参加（'04 年）
- ・狭隘道路事業検討会委員（'92 年 8 月～'93 年 5 月）
- ・緑区「長津田に住み続けるために」高齢化に伴う地域住人の共同アンケート調査（'92 市助成事業）
- ・横浜市住宅地の環境形成誘導手法検討調査委員会委員（'93.1 月～'93 年 7 月）
- ・鶴見川流域における妖怪・神様（神社）の環境特性と社会的意義・共同研究（トヨタ財団助成事業）
- ・ブルガリア・ネセバル地域における狭隘道路のまちづくり調査研究（'00 年、'02 年）
- ・女性の目で見たまちづくり提案集（講演）・女性の目で見えた公共施設づくり（座長）
- ・横浜市コミュニティハウス基本構想委員会委員（'94 年～'95 年）
- ・横浜市福祉のまちづくり推進委員会委員（'12 年～'15 年）
- ・ヘリテージマネージャー（'12 年）として地域の歴史・文化遺産等の環境をいかし、そのまちと調和したすまい・まちづくり・コミュニティづくり・コミュニティ施設づくりが、人口減少・少子高齢社会の豊かな暮らしに繋がると考え、そのお手伝いができればと思っています。